



「みんなで仲良く楽しいね」

5月13日に行われた、摩周丘幼稚園（鈴木幸栄園長）とおひさま保育園（清水節子園長）の年長児交流会での一コマです。リズム遊びで体を動かし、初めて会うお友達ともすぐに仲良くなりました。

◇主な内容

- 6月1日は人権擁護委員の日……………②
- 緊急雇用創出推進事業……………⑤
- 町民宿泊促進支援事業スタート!!……⑥
- 第35回児童生徒読書感想文コンクール…⑧
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設…⑺

てしかがが



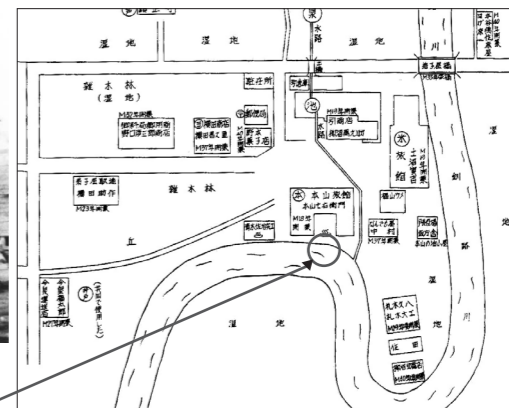
摩周湖といて湖のロマン 弟子屈町

2010.6
No.670

てしかがが歴史写真館 110



本山旅館の裏を流れる釧路川に浮かぶ川舟



写真はここ辺り

1907(明治40)年ころの弟子屈市街図
〔弟子屈町商工の歩み〕から転載

釧路川に浮かぶ川舟

1873(明治6)年から塘路に一時居住していた本山七右衛門は、1882(明治15)年にテシカガを流れる釧路川の淵に温泉がわいていることを知ります。1883(明治16)年にアシが茂る湿地帯を切り開いて家を建て、夏の間だけ過ごしていたのですが、1885(明治18)年には家族とともにテシカガに移住してきました。

1876(明治9)年には、釧路場所の佐野孫右衛門が川湯硫黄山(アトサヌプリ)の硫黄採掘に取りかかり、また、1885年に標茶に釧路集治監が開庁して、和人や駄馬の往来は多くなってきていたのですが、本山七右衛門が弟子屈で最初に定住をした和人でした。

「てしかがが歴史写真館102号」で、1920(大正9)年の釧路川が大洪水を起こしたのち、河道を変えているお話をしました。写真は1902(明治35)年ころのもので、弟子屈に定住した本山七右衛門が建てた本山旅館です。屋根の上に湯気抜きが見えるのでお風呂であることが分かり、この旅館の裏を流れる釧路川に浮かべた川舟に集まる人々です。

川舟もここまでが限界でした。これ以上の川上は蛇行と急流で、大きな舟を引き上げるのも大変な作業で、下る舟を操ることも難しかったことでしょう。釧路川の流れを使って木材を運ぶ流送も、この辺りまでは一本丸太で流し、少し下流でいかだに組んで釧路まで流しています。

てしかがが郷土研究会(松橋)